

火山列島硫黄島の火山活動に関する資料（2）

著者	熊谷 貞治
雑誌名	国立防災科学技術センター研究速報
号	25
ページ	47-51
発行年	1977-03-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1625/00002752/

0 火山列島硫黄島の火山活動に関する資料(2)

熊谷 貞治 *

Data List of the Volcanic Activities in Iwo-jima (Sulphur Island), Kazan (Volcano) Islands (2)

By

Teiji Kumagai

National Research Center for Disaster Prevention, 4489-1,
Kurihara, Sakura-mura, Ibaraki-ken, 300-32

目 次

0-2 (続) 火山列島に関する文献	47
0-4 火山列島硫黄島の物理探査等	50

ま え が き

火山列島硫黄島の火山現象に関する研究の参考に供するため、第1報(火山列島硫黄島の火山活動に関する資料、国立防災科学技術センター研究速報、第23号、1976年3月)に引続き火山列島に関する文献の追録(1976年以降に刊行されたものおよび1876年以降で第1報の発行後に判明したもの)と、本島を対象として行われた物理探査等の目録をここにまとめた。

0-2 (続) 火山列島に関する文献-統一(1876-1976)

0-2-1 著者名をアルファベット順に記載。文献は、著者名、刊年、標題、雑誌名、巻数、ページの順に記載した。

0-2-2 文献の発行年別に著者名のみ発行順に記載した。

* 第3研究部地表変動防災研究室

- 江原幸雄(1976):地熱活動からみた小笠原硫黄島の火山活動について,火山,第2集, 21, 3, 215-216(講演要旨)
- 石田龍次郎(1929):硫黄島,日本地理大系,関東編
- 一色直記(1976):火山列島硫黄島の地質と岩石,国立防災科学技術センター研究速報, 23, 1-16
- 岩崎健吉(1973):硫黄島の地誌学的研究,「地理学者岩崎健吉」,三野与吉編,地理学者岩崎健吉刊行会,朝倉書店,47-100
- 国立防災科学技術センター(1976a):小笠原硫黄島における火山性異常について(その2),火山噴火予知連絡会会報,5,25-28,気象庁
- 国立防災科学技術センター(1976b):小笠原硫黄島における火山性異常について(その3),火山噴火予知連絡会会報,6,21-25,気象庁
- 国立防災科学技術センター(1976c):小笠原硫黄島における火山性異常について(その4),火山噴火予知連絡会会報,7,28-31,気象庁
- 熊谷貞治(1976a):小笠原硫黄島の火山活動(4),防災科学技術,30,12-15
- 熊谷貞治(1976b):小笠原硫黄島の火山活動(5・完),防災科学技術,31,16-19
- 熊谷貞治(1976c):火山列島硫黄島の地震活動(1974.5-6,1975.2),国立防災科学技術センター研究速報,23,29-42
- 熊谷貞治(1976d):火山列島硫黄島の地盤振動特性,国立防災科学技術センター研究速報,23,43-51
- 熊谷貞治(1976e):火山列島硫黄島の火山活動に関する資料,国立防災科学技術センター研究速報,23,53-64
- 熊谷貞治,大八木規夫,高橋博(1976):火山列島硫黄島の火山現象について(2),火山,第2集,21,3,215(講演要旨)
- 熊谷貞治,高橋博(1976):断層変位簡易測定装置の概要,国立防災科学技術センター研究速報,23,25-28
- 熊谷貞治,高橋博,大八木規夫(1976):火山列島硫黄島の地震活動(1976.3-8),火山,第2集,21,3,215(講演要旨)
- 熊谷貞治,高橋博,大八木規夫,清水文健(1976):火山列島硫黄島の火山現象について(1),火山,第2集,21,2,121,(講演要旨)

火山列島硫黄島の火山活動に関する資料(2) — 熊谷

参謀本部(1931): 小笠原群島竝八丈島及屈島兵要地誌, 1-77

高橋博, 熊谷貞治(1976a): 火山列島硫黄島の火山現象調査図, 国立防災科学技術センター研究速報, 23, 17-18

高橋博, 熊谷貞治(1976b): 火山列島硫黄島の断層分布, 国立防災科学技術センター研究速報, 23, 19-24

Washington, H.S. (1917): Chemical analysis of igneous rocks. Published from 1884 to 1913, inclusive. U.S.G.S. Prof. Pap., 99, 1201 pp.

以上の他, 予稿として次のものがあげられるが, 予稿については把握しにくいので記載もれがある恐れがある。

川崎逸郎(1976): 小笠原硫黄島調査—電気探査を中心に—, 日本地理学会予稿集, 10, 37

高橋博, 鈴木宏芳, 高橋末雄, 熊谷貞治, 福尾信平, 上原正義(1976): 火山列島硫黄島に設置した傾斜計, 日本測地学会第45回講演会要旨, 73-74

高橋博, 熊谷貞治, 大八木規夫(1976): 火山列島硫黄島の断層変動について, 日本測地学会第46回講演会・地殻変動シンポジウム要旨, 76-77

0-2-2, 刊行年別, 刊行順(著者名のみ記載)

1917: Washington, H.S.

1929: 石田龍次郎

1931: 参謀本部

1973: 岩崎健吉

1976: 熊谷貞治 a

国立防災科学技術センター a

一色直記

高橋博, 熊谷貞治 a, b

熊谷貞治, 高橋博

熊谷貞治 b, c, d, e

国立防災科学技術センター b, c

熊谷貞治, 高橋博, 大八木規夫, 清水文健

熊谷貞治, 大八木規夫, 高橋博

熊谷貞治, 高橋博, 大八木規夫

江原幸雄

以下は予稿

川崎逸郎

高橋博, 鈴木宏芳, 高橋末雄, 熊谷貞治, 福尾信平, 上原正義

高橋博, 熊谷貞治, 大八木規夫

0-4 火山列島硫黄島の物理探査等

硫黄島が米国から返還された1968年6月以降1976年11月までに本島で実施された物理探査等について次の順序で記載する。

種目, 実施時期, 実施者または実施機関, 方法または使用器械, 成果(公刊されたものについては文献目録0-2参照)

0-4-1, 弾性波探査

微動測定: 1975.2, 熊谷貞治(国立防災科学技術センター)・山本達雄(海上自衛隊), 熊谷貞治(1976d)

微動測定: 1975.3, 笠原稔・江原幸雄・湊一郎, 東京都, 地震計(U-D成分), 東京都総務局三多摩島しゅ対策室(1975)

0-4-2, 電気探査

比抵抗測定: 1975.3, 川崎逸郎・宮沢洋介・妙田蘭猛・小沢聖・山懸洋, 東京都, YEW製・3244, 東京都総務局三多摩島しゅ対策室(1975)

0-4-3, 重力探査

重力測定: 1975.3, 笠原稔・江原幸雄・湊一郎, 東京都, ラコステ重力計(G-31), 東京都総務局三多摩島しゅ対策室(1975)

0-4-4, 地表温度測定(広域)

温度測定(空中探査): 1975.4.17-18, 小坂丈予・江原幸雄・横山泉, 東京都, マルチ・スペクトル・スキャナー(DS-1250), 東京都総務局三多摩島しゅ対策室(1975)

温度測定(空中探査): 1975.7.24, 海上自衛隊, PRT-5, 未公刊

温度測定(空中探査): 1976.2.18, 海上自衛隊, PRT-5, 未公刊

温度測定(空中探査): 1976.10.6, 海上自衛隊, PRT-5, 未公刊

(1977年1月14日原稿受理)

国立防災科学技術センター研究速報第23号の正誤表

正誤表印刷後判明した「誤」を以下に記した。

頁	行	誤	正
6	下 1	のぼる	のびる
10	5	蔽われている	蔽はれてゐる
10	16	上層部	表層部
10	下 5	顕著である	顕著である。
10	5	粗面岩が凝灰岩を貫く	粗面岩が凝灰岩層を貫く
29	下 3	摺鉢山	摺鉢山
39	図 8	月別地震回数	日別地震回数
45	写真 4	トーマカ	トーチカ
54	下 1	1975年11日	1975年11月
55	1	認められた, 熊谷	認められた; 熊谷
55	3	報告があった, 海上	報告があった; 海上
56	下 2	菊地安(1888)	菊池安(1888)
58	4	小笠原硫島調査報告	小笠原硫黄島調査報告
59	下 8	, 山崎逸郎,	, 川崎逸郎, 注: 原本が..., 山崎逸郎, ...と なっているが, 川崎逸郎, が 正しい
60	下 8	菊地安	菊池安